



SHOW COM

Vol.8

～最新のお笑い情報をいち早くお届けするフリーペーパー『SHOW COM』（ショーコン）～

厚切りジェイソン

日本語のミョーなところ、日本人の変わった習性を笑いに変えるIT企業役員兼アメリカン・ピン芸人

Interview 01



●『WHY JAPANESE PEOPLE!?』がリリースされますが、ファンにとっても待望の一作なのでは？

厚切りジェイソン（以下、AJ）：そうなんですかね？ あまりにも短い期間で話が進んだから、まだ実感が湧かないんですよ。

●このブレイクで、かなりの変化があったのでは？

AJ：会社役員と芸人の兼業ですが、おかげさまで芸人の仕事がかかり忙しくなりました。日中は芸人、夜は会社の仕事をしています。でも、楽しいですよ。

●今回リリースされる『WHY JAPANESE PEOPLE!?』ですが、漢字ネタしか知らない人にとっては、ジェイソンさんのネタの幅広さに驚くのでは？「外国人から見た日本人」だけじゃなく、「日本人から見た外国人」の視点でも、ネタを作っていたり。もともとは、どちらのネタをやっていたんですか？

AJ：漢字ネタ以外はほとんど、DVD用に作ったネタです。こんなに一気にネタを作ったのは、初めて！ なかなか大変でした。昔からあるのは「漢字」と「外国人

だから」「2020年オリンピック開催にあたっての諸注意」ですね。ただこの2本は、養成所の頃にやっていた荒いものだったので、DVD用に直しました。それ以外は完全に新作です。

●たくさんネタを作り、それをやるのは、大変だったのでは……。

AJ：ネタを作るのも大変でしたが、相談する人がいるので、まだいいんです。一番大変なのは、台本を覚える作業。僕にとっては外国語ですし、完璧に覚えるのはまあ苦労しました。収録日も2日しかなかったですし。

●一番大変だったのは？

AJ：「KOKOROBOSOI」ですね。台本を完璧に覚えることと、あとメガネを外しているから何も見えない（笑）！ ずっと何も見えない状態で完璧に思い出すのはなかなか辛いですし、セリフも長いんですよ。

●コンタクトを入れるという選択肢は？

AJ：……あったねえ（笑）。ただ、メガネを外してやるのが当日決まったので、どうにもなりません。

●代表作の「漢字」は5作入っていますが、これは1日で収録したんですか？

AJ：いえ、2日に分けてました。なぜなら、1日で収録すると、声が限界に達してしまうから。何しろ、絶叫しまくりなので（笑）。

●「ケントくんの憂鬱」は、「なるほどな～」と思いました。やっぱりアメリカは会社でも、ファーストネームで呼び合うものなんですか？

AJ：呼び合います。でも日本人は、呼びませんよね。なぜなら自己紹介の時に、

ファーストネームを言わないことが多いからなんです。このネタ自体に関しては、台本を覚えるのは楽でした。なぜならセリフが英語だったから（笑）。

●それでは、一番の推しネタは？

AJ：「和菓子のころも」です。このネタは、テレビやライブではなかなかできませんから。DVD専用と言ってもいい、レア・ネタです。でも、自分で見ても笑えます。ネタをやっている時は、あまりにもバカけているから、つい自分で笑ってしまいそうになるので、それをこらえるのが大変でした。

●このDVDのオススメポイントは？

AJ：ジェイソンが英語をしゃべっている姿を見るのは、ほとんどの人が初めてなのでは。「ケントくんの憂鬱」で、ペラペラ英語をしゃべっています。珍しいと思うので、ぜひ観てください。

●ちなみに、アメリカにいるご両親は、息子のDVD発売を知っているんですか？

AJ：はい。“そうですか”と言っていました（笑）。アメリカだと、自分のDVDを簡単に作れるんですよ。“携帯で録画して制作した自分のDVDを1枚売りました”みたいな話が、よくある。そういうレベルだと、勘違いしているのかも（笑）。両親にDVDを送りたいんですけど、たぶんリージョン（コード）が違うから観られないですよ。まあ、日本に遊びに来ることがけっこうあるので、その時に観せようと思っています。

●それでは、ジェイソンさんが感じる、日本のいいところは？

AJ：サービスがいい。お客様を大事にする。そういう国だから、お客様でいたいんですね。アメリカとは、店員さんの態度が違います。向こうだと、すぐにチップを求められる。仕事なんだから、やれよー（笑）！

●日本に来てわかった、アメリカの良さは？

AJ：個人がより尊重されることです。“みんなと同じじゃなくてもいい”ことが当たり前になっている。日本だと、人と違うことが悪いことになっているみたいで、アメリカは実力のある人がどんどん出世していくし、成功報酬型が多いです。社内の上下関係は、年齢やキャリアじゃなく、成果を出しているほうが上。だって、会社に長くいても仕事のできない人は、別に必要ないでしょ？ 日本ではそれが“いやー、大先輩ですから”となってしまう。年功序列、いらねえ。

●続いて日本の笑いアメリカの笑い、どう違いますか？

AJ：日本の笑いのほうが、より短いです。アメリカの笑いは、ひとりが30分～1時間くらいしゃべっているのが、一般的。お



客さんは食事をしながらスタンダップ・コメディをずっと観る、ディナー・ショーみたいな感じですね。

●ジェイソンさんが日本の笑いをやりたかった理由は？

AJ：お笑いが楽しそうだったからです。日本にいて、『エンタの神様』を観て、“やってみよう”となりました。当時はアクセルホッパーさんが好きだったんですが、リズム・ネタはやりようと思いませんでした。なぜなら、リズム感がないからです（笑）。●日本で成し遂げたいことを、教えてください。

AJ：今、意識しているのは、2020年のオリンピック。ここで、代表的な外国人タレントとしていたいですね。日本と世界の架け橋的な存在になりたいんです。

●びったりですね。

AJ：んー、どうですかね。会社で似たようなことはやっているんですが、会社ではなく、もっと大きなスケールで、日本と各国の橋渡しをしたい。それが、今の夢です。

●そして今、ハマっていることは？

AJ：空き時間があると、twitterをやっています。『厚切りお悩み相談』をやっていて、先日も残業に関して相談されました。“効率の悪い仕事にごほうびが出るから、日本は良くない。グローバルでやっていけないよ”と答えましたね。あつという間にたくさんリツイートされました。

●最近のオフは、どう過ごしましたか？

AJ：娘を川沿いに連れて行って、ブランコを一緒にしたくらいですね。なかなか休みがないので、休日は家族サービスに努めています。

●最後に、メッセージをお願いします。

AJ：テレビやライブなど、他のメディアでは観られないネタが収録されているので、ジェイソンのすべてを観たい人は、これを観るしかない！



厚切りジェイソン『WHY JAPANESE PEOPLE!?』
IT企業の役員という肩書きを持つ二刀流ピン芸人、厚切りジェイソンの1st DVD。日本人の目線では気づかない漢字の謎に、厚切りジェイソンが鋭く切れ込む！

ANSB-55193
¥3,000+税 販売中



ラバーガール

独自の空気感を持つコント職人、ラバーガールが、演劇ファンをも唸らせる笑いが満載の一作をリリース!

Interview 02



●今回のタイトルを『GIRL』にした理由から聞かせてください。実際、女の子がらみのネタが多いですね。
飛永翼 (以下、飛永): (ネター一覧を見て) ……あつ、ホントだ。
●あれっ? わざと女の子がらみのネタを増やしたわけではなく……?
大水洋介 (以下、大水): えーと……わざとです (笑)。まあ、細川 (徹) さん (人気演出家) と一緒にやるのが決まった時に、「とりあえず3回は一緒にやろう」という話だったんです。今回、タイトルを決めるとなった際に、細川さんが「今回最高傑作にしよう。じゃあ、ラバーガールだし、『GIRL』だろ」と言ったんです。僕は「あ、いつすね」と。
飛永: そんな人任せな (笑)!

大水: 一応、何個か候補は考えてきたんだけど、『GIRL』と言われた時に、「あ、それだな」と思っちゃったんだよね。
●他の候補には、どんなものがあつたんですか?
大水: なんだったかな……。飛永: たぶん、大水さんしか用意してないよ。確がタイトルを決める時に、「候補を持って来てね」という感じじゃなかった気がする。大水さんだけ、勝手に持って行ったんじゃない?
大水: ウンだー! だって、細川さんからメール来たよ?
飛永: えー、僕は来てないよ。基本的に細川さんとのライブは『TV』『GAME』など、ひとりでスパッとわかるタイトルなんです。だからそういう系統がいいね、という

のは3人の共通認識で。あと、これが10回目の単独なので、「集大成のライブを作ろう」という意識はありましたね。
●おふたりの思い入れが強いネタを教えてくださいませんか。
大水: 僕は「芸能人とつきあう」。好きなネタですが、覚えるのが大変だったというのがあります。「芸能人とつきあったら、こんないいことがある・嬉しくないことがある」を点数で評価するんですが、その数字を覚えるのが、本当に大変で。
飛永: ああ点数に意味がないからね。
大水: しかも時間調節のために途中でネタを削り、「合計点数が合わなくなるから、こっちに3点足そう」みたいなことをやっているから、なおさら覚えるのが大変で。とは言いながらも、こういう夢のある話は好きです。夢があるだけで終わっていないところもいい。
飛永: やってて楽しかったのは「WAKE UP OHMIZU」ですね。前回の『TV』の時のインタビューで、「大水さんにはバレエか社交ダンスを習ってほしい」と話しましたが、今だに習ってくれないんですよ。
大水: イヤです (笑)。
飛永: サルサとか、いいと思うんだけどな。このネタは、最初に僕が「ダンスで大水が敵を倒す」という案を出したんです。そうしたら、大水が「パラパラだったらシンプルだから、なんとかできる」と言っていて。
大水: パラパラで、ギリです。
飛永: ダンスは同期の慶ちゃん (チャラ男キャラでお馴染みの現ワタナベエンターテインメント所属芸人) に振りをつけてもらったんです。稽古場で慶ちゃんに教えてもらって、後輩たちと一緒に踊り出した大水さんの姿を見たら、「あ、やっぱこのネタ、

面白いんだな」と、ちょっと嬉しくなりました (笑)。でも、まさか僕まで踊ることになるとは……。
●大水さん、そろそろ本気で踊りを習わないと。
飛永: そうだよ。サルサとかサンバとか、ラテン系のダンスがいいと思うな。これからはもっと芸の幅を広げていかなきゃいけないんだから、まずはダンスのクオリティを上げようよ。たぶん、今後もダンスか、もしくは殺陣をやることになりそうだし。
大水: 細川さんが殺陣を好きなんだよなあ……。
●本作を振り返ってみて、どんな作品になっていますか?
飛永: 10回目、かつ『キングオブコント』決勝進出後初の単独ということで、集大成として意気込んでたけど、新しいことにも挑戦していて、「こういうことを入れ込んだら、もっといろいろできるな」と期待が伺えるライブだった気がします。お笑いだけお芝居の要素が強めというか、「ラバーガール、こんなこともできるんだ」という発見のある1枚じゃないかな。
大水: 『solo live+』になってから、セリフの量や身体の動きなど、許容量ギリギリまで頑張ってます。「これが、今の精一杯だよ」というところまでやっているので、そこをぜひ観ていただきたいですね。



ラバーガール『ラバーガール solo live+GIRL』
2015年2月10~15日、恵比寿・エコー劇場にて行われた公演を完全収録。人気演出家・細川徹が参加したコントライブ、シリーズ第3弾!!!
ANSB-55194
¥3,000 + 税 販売中

神宮前四丁目視聴覚室

【第8回】香川県在住のお笑いDVDコレクター菅家志乃歩の名盤DVDレビュー!

取るに足らないボケを連発する学校の先生コント「小ボケ先生」でちょっとだけ注目を集めたトリオ、オテンキ (GO、のり、江波戸邦昌) の作品集である。その名も『1回やらせて!』。なにやらアダルト・ショップに陳列されているナンパもののタイトルみたいだが、別にワイセツなことをしているわけではない。
本作には、オテンキの3人が、持ちネタの

シチュエーションに合った場所を探し出し、許可を得て、コントを撮影するまでの様子が収められている。コントを撮影するため、場所を提供してもらえるようにお願いするから、タイトルが『1回やらせて!』となっているわけである。
一見すると、安直なコンセプトに感じられなくもないが、撮影場所を探し回るオテンキのご陽気なやりとりは観ていて楽しく、

コントだけでは伝わってこない3人の本質的な魅力が感じられるし、日常的な空間で演じられるコントも、舞台やスタジオでは出せない奥行きのある画が、ネタのパカパカしさをさらに際立たせている。安直に見える程度、ほんのちょっとした工夫だけでオテンキというトリオの良さを存分に引き出した秀作といえるだろう。

ただ、個人的に観てもらいたいのは、特典映像として収められている「ぞうのティンコ」である。その内容は、自身のパンツの中に閉じ込められた「ぞうのティンコ」を他のふたりにバレないように、こっそりと救出する……というオリジナル・ゲームに興じている3人の姿を撮影したもの。若手芸人のパカな酔狂をどうぞ堪能していただきたい。

菅家志乃歩(すがやしのぶ)

1985年生まれ、香川県在住のお笑いDVDコレクター。

お客さん目線のお笑い考察でブログ「逢魔時の視聴覚室」やTwitterを中心に注目を集めている。

Blog: <http://omoshow.blog95.fc2.com/>
Twitter: @Sugaya03



オテンキ『1回やらせて!』
コントあり、ロケあり、アクション芸あり…お笑いのすべてが詰まったオテンキ渾身の初DVD!! パカパカしいけど、笑わずにはいられない!
ANSB-55159
¥3,000 + 税 販売中

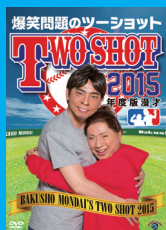
Pick Up Discs



バカリズム『番組バカリズム2』
孤高の天才ピン芸人バカリズムの魅力満載したコント番組! 超豪華ゲスト参加のDVD第2弾!!
ANSB-55195
¥3,000 + 税
2015年7月22日発売



日本エレキテル連合『おバイバイブス』
待望の第3弾ネタ盛り下ろし作品! 「激情」「哀愁」「悲哀」に満ちた8本のネタを収録。この貴重な作品を顧みずして、日本エレキテル連合は語れない!!
ANSB-55196
¥3,000 + 税
2015年7月15日発売



爆笑問題『爆笑問題のツーショット』
2015年度版 漫才 爆笑問題のツーショット!!
完全版!! 話題つづきの2014年度をノンストップで切り刻む爆笑問題のツーショット!! ステージの上で繰り広げられた、1時間超えの漫才を本作に収録!!
ANSB-55191
¥3,800 + 税 販売中

SHOW COM Vol.8

コンテンツリーグのウェブサイトでは、DVD 情報だけでなく、芸人のインタビューも掲載しています。

Published by Contents League
<http://contentsleague.jp>
© 2015 Contents League Inc.
All Rights Reserved.

